

リスクアセスメントと機能安全～安全のための計測センサ～

産業分野のIoTの技術開発に関心が集まり、生産性の向上、システムの予防保全などに大きな変革が期待されています。そこで重要なのは安全対策で、設計段階から系統的に検討をしておかなければ、複雑化したシステムの中で事故発生後に対策をとるのも難しくなります。これを「リスクアセスメント」として捉え、「安全のための計測センサ」などのシステムを備えることが必要となります。

リスクの要因は産業分野や企業毎に異なるのでリスクアセスメントは容易ではありません。厚生労働省など国の機関は各分野の専門家による検討会などの議論を踏まえて、労働安全、産業安全のための指針を定めています。実際には各企業はこれらの指針及び他企業の実例を参考にして進めていくことになります。当然、必要とされる計測センサもシステム毎に異なりますので、対策のシステムが決まれば、この信頼性は「機能安全」の構築手順で評価することになります。そして、この手順も重要なのです。

(企画：大手 明、矢野 智)

日時：2018年5月21日(月) 13:00～16:35

場所：化学会館 6F 601号室(東京都千代田区神田駿河台1-5)

【交通案内】JR 中央・総武線 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口下車 徒歩約3分、東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅下車 出口2 徒歩約4分

主催：一般社団法人次世代センサ協議会

協賛：一般社団法人電気学会、公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本電気計測器工業会、センシング技術応用研究会、一般財団法人マイクロマシンセンター、一般社団法人日本計量機器工業連合会、特定非営利活動法人安全工学会、MEMSパークコンソーシアム、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、フジサンケイ ビジネスアイ (一部、依頼中)

参加費：次世代センサ協議会会員/3,500円 次世代センサ協議会研究会員および協賛団体会員/5,500円 一般/13,000円 学生/3,500円 (資料代、消費税込)

※一般の方で、一般社団法人次世代センサ協議会の個人会員(年会費8,000円)になられる場合は、今回より主催会員参加費が適用となりますので、入会をご検討下さい。入会に関しては、下記ホームページをご覧ください。

申込方法：事前登録制となっておりますので、参加ご希望の方はインターネットからお申込みください。なお、参加申込後のキャンセルは出来ませんので、代理の方のご出席をお願いいたします。



お申込みはコチラ▶▶▶ <http://www.jisedaisensor.org/>

プログラム

13:00～13:15	イントロダクション 計測センサとリスクアセスメント及び機能安全との繋がりについて紹介する。 株式会社イーエス技研 代表取締役 古谷隆志氏
13:15～14:15	基調講演「労働安全衛生法令への機能安全の取り入れ」 厚生労働省では、近年のコンピュータ制御の進歩を踏まえ、新たに制御機能を付加することによる安全方策である「機能安全」について、平成28年9月に、労働安全衛生法に基づき、「機能安全に関する技術上の指針」を制定した。本講演では、機能安全指針の概要と機能安全を安全衛生法令に導入するにあたっての主要な論点を解説する。 厚生労働省安全衛生部安全課 副主任中央産業安全専門官 安井省侍郎氏
14:15～14:25	休憩
14:25～15:25	「企業におけるリスクアセスメントとリスク低減の実際」 企業におけるリスクアセスメントとリスク低減の実際について、ロボットシステムの実例を交え具体的な手順と留意点について紹介する。また、近年導入が進みつつある人とロボットが物理的に隔離されていない“人協調ロボット”について、リスクアセスメントをベースとしたリスク低減方策の考え方について紹介する。 トヨタ自動車株式会社 安全健康推進部安全衛生室 主幹 星野晴康氏
15:25～15:35	休憩
15:35～16:35	「センサへの機能安全技術の応用及び機能安全の証明」 安全関連系、および、その系の中で使用されるセンサ、それぞれの機能安全評価について整理して説明する。また、日本における機能安全評価の概要とそれに基づくSEMAの機能安全評価手順、費用などを紹介する。 一般社団法人安全・環境マネジメント協会 代表理事 石田 豊氏

※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

■お問い合わせ先：一般社団法人次世代センサ協議会 事務局

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3-4F CNT 内

Tel.03-5294-2333 Fax.03-5294-0909 E-mail office@jisedaisensor.org